

**使われて、愛されて、器は生きていく。** 祥見知生

鎌倉に器ギャラリーをもつ、器の伝え手、祥見知生さんの「うつわと一日」という本に、こんな一文がある。「人と人が言葉をかわす、顔を合わせて話をする、と、「関係」が生まれてくる。それと同じように、器を手にとり、手のなかに包むことで、器と人の「関係」が生まれてくる。その関係が「愛着」と呼ばれ、親しみや、信頼に変わることがある。」

大川牧師のメッセージを題材に「土の器」というオリジナル・ソングを作曲して、はや20年になります。大和の副牧師・坪井先生と何度この歌をうたったか数えきれません。ぼくらは今離れて働きをしていますが、いっしょに歌う時に、その絆の深さをいつも感じます。

**ペンキをもって色をつけても ネオンの明かりで着飾っても
わたしはやはり土の器 火のような試練に耐えられない
だけどイエス様がおられる この方こそ栄光の望み** (土の器の二番の歌詞)

シリーズの最後にもう一度確かめたいと思います。それは、神さまは私たちを「土の器」として造られたということ。陶器師が愛情の限りを注いで「選び・形づくり・窯で焼いた」その器は、そのままで尊く美しいものです。しかしながら、この器は愛され、使われ、用いられ、誰かの何かを助けるために存在しています。箱に仕舞われて、倉庫に置いておくためではありません。何かを注ぎ入れ、何かを運び届け、何かを伝えるために「器」はあるのです。祥見さんの言うように「**使われ、愛されて、器は生きていく。**」

私たちはこの土の器の中に「宝」を持っています。離せば落ちる、落ちれば割れるような、脆くて小さな器ですが、「**栄光の望み**」である、**キリストが内側から器を支え、強め、輝かせてくださいます。**

瀬戸カルバリーチャペル、すべての教会は、神さまの愛する尊い器です。いまは、顔と顔を合わせて、ことばを語り合うことが「制限」されていますが、神さまとの交わりは「無制限」。礼拝や祈祷会(オンラインもあります!)、朝の宣言や祈りの小径を通して、キリストにあって与えられた絆(きずな)をもう一度強めていただいて、イエス様の栄光をこの世界に届けてゆきたい! シリーズを締めくくるにあたって、これが、皆様の牧師が切に祈り求めていることなのです。

瀬戸カルバリーチャペル 牧師 倉知契

礼拝プログラム

司会:小木秀夫さん 賛美&ピアノ:米田香さん

♪ゴスペル・タイム

司会・黙祷・祈祷**賛美 新聖歌325 歌いつつ歩まん**
土の器/神のひとり子**3つの愛****聖書 テモテへの第二の手紙2章20~21節 (P.334)**
朗読 平松友子さん**聖餐式****特別音楽****聖書のお話(メッセージ) 牧師 倉知契****土の器の魅力****献金と賛美: 御手の中で**

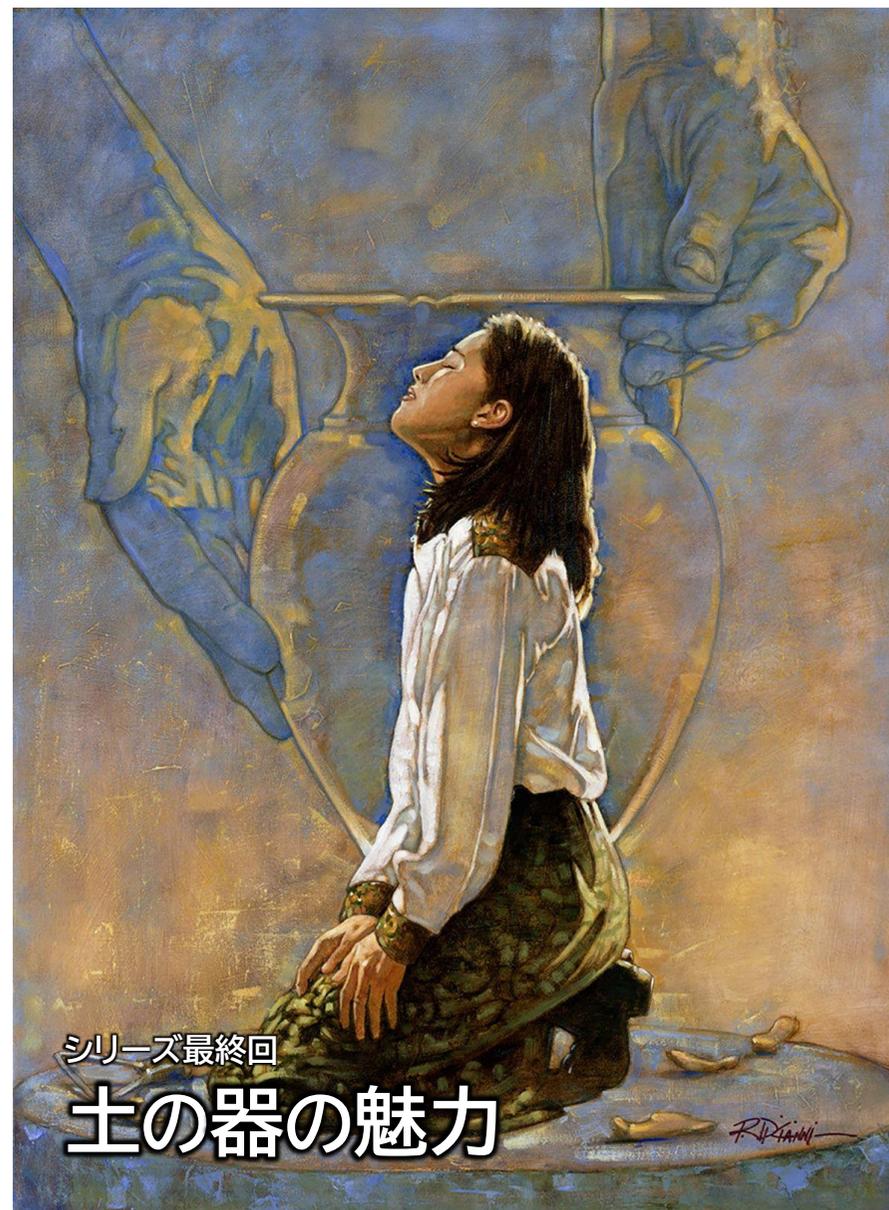
献金係:加藤由美子さん・村上歩美さん

祝祷:

【チャペル・ニュース】

今日も音楽ミサを開催することができて感謝です。引き続き、マスク着用・消毒など感染予防対策をお願いいたします。終了後の掃除・除菌のお手伝いも感謝します。

- ◆ 木曜お祈り会は10時半。瀬戸ライフアートスタジオはお休み。金曜夜8時半～オンラインお祈り会があります！ぜひご参加を！
- ◆ 10月・11月のプログラムもバラエティに富んでいます。Life Art Magazine (ライフアートマガジン)をお使い下さりお誘い合わせてご参加ください。
- ◆ 聖書通読はそれぞれの方法で！でも一年プランに乗っている方は、9月がヨハネの黙示録、10月は創世記です！
- ◆ 様々な問題や病の中におられる方、医療従事者の方、コロナの終息のため、世界平和のためにお祈りします。



シリーズ最終回

土の器の魅力

瀬戸カルバリーチャペル × Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899

牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com

日曜礼拝 朝 11 時 // 木曜祈禱会 朝 10 時半 // ジョイキッズ 日曜朝 9 時半
礼拝 (ミサ) を YouTube からご覧いただけます。



日曜礼拝 2021

瀬戸カルバリーチャペル
Seto Life Art Studio
9月19日(日) 11~12時